

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【公開番号】特開 2005-264306 (P2005-264306A)
 【公開日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-038
 【出願番号】特願 2004-82990 (P2004-82990)
 【国際特許分類】

C 2 3 C 28/00 (2006.01)

B 2 2 D 17/20 (2006.01)

B 2 2 D 17/22 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 28/00 B

B 2 2 D 17/20 F

B 2 2 D 17/20 G

B 2 2 D 17/22 Q

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 12 月 19 日 (2006.12.19)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 4】

そこで、高い耐溶損性が要求される部材には、P V D 処理や C V D 処理といった蒸着法により、部材表面にセラミックスの被膜をコーティングをすることが行われている。このセラミックス被膜は、アルミニウム溶湯に対して化学的に安定しているため、非常に優れた耐溶損性を発揮することが知られている（非特許文献 1 参照）。

【非特許文献 1】機械工学便覧新版、B 2 編 加工学・加工機器第 1 5 7 頁

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 4】

実施例 1、2 と耐溶損性を比較するために、比較例には実施例 1、2 の同一の基材表面に C V D 処理により窒化チタン（T i N）をコーティングしたものを用いた。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】図面
 【補正対象項目名】図 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 図 4 】

